

CASBEE[®]-戸建(新築)

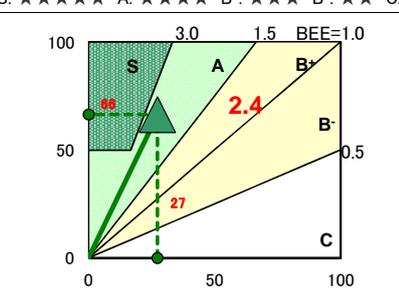
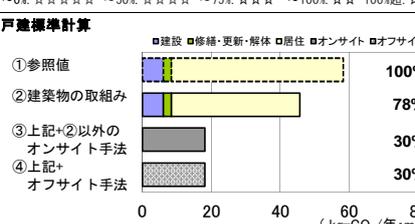
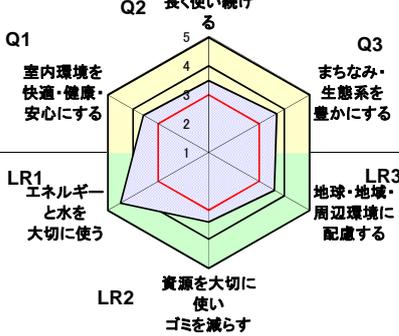
評価結果

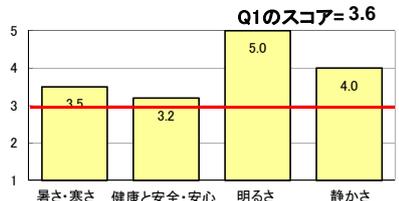
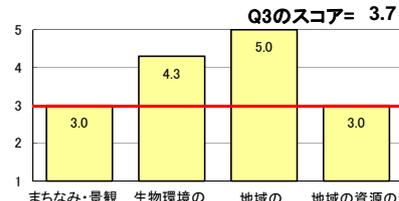
■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2014年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2014v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観			
建物名称	TM		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定	
竣工年月	2015年3月	竣工		持ち込み家電等	仮	
建設地	茨城県つくば市		<備考>	外構の仕様	確定	
用途地域	第一種低層住居専用地域	確定				
省エネルギー地域区分	5地域					
構造・構法	木造在来工法	確定				
階数	2					
敷地面積	228 m ²	確定	評価の実施日	2015年6月15日		
建築面積	72 m ²	確定	作成者	矢野浩司		
延床面積	115 m ²		確認日	2015年6月20日		
世帯人数	4	仮	確認者	岡田八十彦		

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE 2.4 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>  <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆ ~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆☆☆ ~100% ☆☆☆☆☆ 100%超 ☆</p> <p>戸建標準計算</p>  <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	 <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする (Q1のスコア= 3.6)</p>  <p>暑さ・寒さ 健康と安全・安心 明るさ 静かさ</p> <p>Q2 長く使い続ける (Q2のスコア= 3.5)</p>  <p>長寿命に対する 維持管理 機能性</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする (Q3のスコア= 3.7)</p>  <p>まちなみ・景観 生物環境の 地域の 地域の資源の活用</p> <p>Qのスコア= 3.6</p>		
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う (LR1のスコア= 4.5)</p>  <p>総合的な省エネ 水の節約 維持管理と運用の工夫</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす (LR2のスコア= 3.4)</p>  <p>省資源、廃棄物抑制 生産・施工段階に役立つ材料の採用 おける廃棄物削減 リサイクルの促進</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する (LR3のスコア= 3.6)</p>  <p>地球温暖化 地域環境への配慮 周辺環境への配慮</p> <p>LRのスコア= 3.9</p>		

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>建物の断熱性、設備面において省エネルギー性が高く、環境への負荷が小さくなるよう配慮されている。住まい手が長期間にわたって快適、安心して生活できるよう劣化対策が採られており、住宅の更新という点でも環境に与える負荷が小さい。建物外についても、敷地内は緑化される等、生態系の保護にも寄与する。</p>		
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>低炭素住宅基準を満たす性能を持たせており、省エネルギー性が高い。LDKでの通気性を確保し、適切な冷暖房設備を設置し、快適性が確保されている。汚染物質の発生防止、適切処理されている。防犯性、災害時の危険回避が考慮され、生活者が安心して生活できるよう配慮がみられる。自然光を有効利用する開口部を確保するとともに、防音面でも配慮されている。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>耐候性、耐用性が長期間期待される外装材であり、耐火性・防火性も備えている。維持管理対策等級3として、設備配管等のメンテナンスの容易さにも配慮されている。維持管理が適正に行われるよう情報提供、仕組みが用意されている。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>モトーン調の落ち着いた色調であり、シンプルな形状の中に特徴的な要素を取り入れている。境界線は設けず、道路に面して開放的であり、外構の多くを緑地としている。開口部に面してウッドデッキが配置され、木のぬくもりが演出されている。舗装面は少なく、生態系・環境にも配慮されている。</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>住宅内の水栓は節水タイプが設置されている。太陽光発電設備が設置され、創エネルギーであるとともに、エネルギー消費の「見える化」が図られ、エネルギーを大切に使うよう配慮されている。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>合法木材の使用、構造体のプレカット、再生骨材の使用、リサイクル材の使用がなされ、資源を大切に使いゴミを減らす配慮が見られる。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>敷地内で雨水浸透する配慮があり、雨水排水負荷軽減につながっている。緑化もなされ、敷地全体では風通しも良く、温熱環境についても配慮されている。</p>